

# 第19回 芝樋ノ爪及び芝4・5丁目地区まちづくり協議会

## 議事要旨

### (1) 日時

平成27年5月27日(水) 午後2時～4時

### (2) 場所

芝公民館 講座室1・2

### (3) 出欠者(会員数18名)

- ・会 員：12名(欠席者6名)
- ・事務局：川口市4名、(株)首都圏総合計画研究所4名
- ・傍 聴：1名

### (4) 議事次第

- 1) 開会
- 2) 今年度の進め方について
- 3) 公園づくりの申し合わせの確認
- 4) 住民ワークショップによる公園づくりの先進事例の勉強
- 5) 分科会からの報告
- 6) 当地区のまちづくりにおける最近の課題について
- 7) 今後の予定
- 8) 閉会

### 【配布資料】

- ・次第
- ・資料1：芝樋ノ爪及び芝4・5丁目地区まちづくり協議会 名簿
- ・資料2：平成27年度の協議会活動予定
- ・資料3：芝樋ノ爪及び芝4・5丁目地区の公園づくりの申し合わせ
- ・資料4：議題4)の説明資料
- ・資料5：当地区のまちづくりにおける最近の課題一覧表
- ・分科会発表パワーポイント資料
- ・地区計画パンフレット



▲当日の様子



▲当日の様子

(5) 議事概要 (○：質問・意見、→：回答)

1) 開会

2) 今年度の進め方について

協議会の今年度の活動予定について説明。

○：住民ワークショップについて詳しく説明してほしい。

→：市から一方的に公園づくりの提案をするのではなく、公園づくりのコンセプト段階から皆様に意見交換や見学会などを行い、意見をまとめたものを提案する手法として、住民ワークショップを行いたいと考えている。

3) 公園づくりの申し合わせの確認

公園づくりの申し合わせの位置づけと活用イメージ、申し合わせ1～6について説明。

○：当地区にある公園の一部は、土地開発公社の所有する土地を、市が借り受けて使用している。公園内に防災倉庫を設置する場合、公園課に相談すると、倉庫の大きさや固定式でない土台等の設置条件まで指定される。協議会ではこれらの諸条件に関係なく、公園づくりの要望について話し合いを進めてよいか。例えば、公園中央部に大きな木を植えたいという要望は、公園課の判断によれば認められないが、制限を考えずに話し合いを進めてもよいか。

→：ワークショップでは公園課も交え、公園づくりで現実的に可能なことを確認しながら進めていく。

○：例えば、空地に高いフェンスをつけて自由に球技等で遊べるようにするなどの提案を考えていけばよいか。

→：考えてもらってよい。公園課を交えて、皆様の公園づくりのアイデアが実現可能かどうかを確認しながら進めたいと考えている。芝富士地区まちづくり協議会では、公園部会を設け、公園課も参加のうえ、整備内容の意見交換をしている。健康器具や遊具を置くだけのスタンダードな公園ではなく、それぞれの公園に機能を特化した公園を棲み分けすることも検討している。公園課と皆様の意見をうまく取り入れながら進めたいと考えている。

○：複数ヶ所の公園を整備したい場合、予算をつけていく上で、優先順位はあるのか。

→：1ヶ所に限定して整備する方針ではない。また、複数の公園整備の意見があれば、公園課や予算等の調整し検討することとなる。

○：運動可能な公園や花を鑑賞する公園等、性格の違う公園を整備すると、各々の整備費用が変わるだろうが、地区内のどこにどの様な公園を配置するかが重要になると思う。

- ：芝神戸町会と芝中田町会には事業促進用地が多い。
- ：蕨駅から3分程の所に、銀座通りに面した公園がある。日曜市を開催出来るような公園にしたなら、人が集まると思う。また、芝5丁目なかよし広場は、水路側のブロック塀を除去し植栽にすれば印象が良くなると思う。
- ：地区内の事業促進用地の活用性について見学会を行ったが、事業促進用地を公園整備することだけではないと思う。道路整備の協力により行く当てがない人もいるため、代替地として考えるべきではないか。
- ：事業促進用地で公園として適地があれば公園としての検討を考え、また、道路拡幅整備に伴う代替地等にすることも併せて考えられる。
- ：芝神戸町会内の芝4丁目広場には隣接した2つの敷地があり、合わせれば広い敷地となる。地主に尋ねたところ、現在、親族が住んでいるだけであるため自分が生きている内にまちづくりの計画が進むなら、土地を売ってもよいと言っている。地主のもとへ不動産業者が再三尋ねに来るため、地主には「売らないで欲しい」と伝え、地主もそのつものようだ。また、今年は今敷地にて生涯学習部が担当でイベントを行うようである。
- 銀座通りの入口から県道に面した栄通りまでは雑然としており、この街区は地主の数も少ない。裏側に芝5丁目広場もあるが、元々は地主の所有地であった。裏側の公園と隣接地と共同化が進められれば、駅から至近の距離の土地と立地が良いため、再開発ビル等の活用ができるのではないか。
- また、銀座通りのとある建主からは、「土地を買う人がいるなら売りたい」と言う話も聞いている。
- ：このような情報について、今後も地元の情報を頂けるようご協力願いたい。
- ：公園管理について、ボランティアにも限界あるため、植栽の管理を地元の老人会である芝中田町会の長寿会に任せて、その対価として管理費を払うというのはいかがでしょうか。
- ：公園課は、一団体につき面積にもよるが、年間3万～4万ほどの補助制度を実施している。
- ：芝5丁目広場と芝なかよし広場の管理には、合わせて年間5万円の補助を公園課から貰っている。県道側の植栽の管理は芝中田町会で年に一回、社会奉仕の日に雑草処理しているが、後は、近所に住む方が行っている。市からコンクリート製の花壇が貰えるが、置いたままで誰も管理していない。
- ：個人的に管理のために除草剤をまいたところ、子供たちに有害であるため除草剤をまかないでほしいと苦情が来た。個人で植栽の管理を行うのは限界がある。

#### 4) 住民ワークショップによる公園づくりの先進事例の勉強

練馬区の住民ワークショップによる公園づくりの先進事例について講師から説明。

○：ワークショップにより整備した公園の使われ方や管理・運営はどうされているか。

→：上宿公園は日陰が無いいためか、日中は子供たちを連れた父母が来づらいが、季節が良ければ早朝は散歩の方々、午前中は近くの幼稚園児達が、午後には小中高生が訪れる場となっている。また、当公園で高校生が花火をした件で警察に問い合わせた話が過去にあったようだが、現在は、周辺の方々が公園の管理団体を作り、腕章を付けて見回りを行っている。ふれあい公園は、公園を拡張して高低差を活かした遊び場ができて、多くの子供たちが遊びに来るようになった。住宅地であるためボール遊びは基本的に出来ないので、走り回って遊ぶような場面は午前中の保育園児くらいである。阿波踊りが7月の最終土曜日にあり、待機場所等のための場所として使われている。電車に見える公園はボール遊びが可能な公園整備要望の意見があり、球技可能な公園整備も検討したが、管理上の問題で作らなかった。

○：各公園について、何坪程度の広さなのか。

→：電車に見える公園は、約 730 坪、約 2,400～2,500 m<sup>2</sup>程度である。ふれあい公園は電車に見える公園とほぼ同じ広さで、上宿公園は少し狭く、約 200 坪、約 700 m<sup>2</sup>程度である。

○：トイレ等、水回りの問題はあるか。

→：水飲み場程度の施設は設けられている。電車に見える公園はトイレがあるが、上宿公園はトイレがない。当公園は商店街内に位置し、人通りが多くトイレのニーズが高いと予想し、事務局からトイレ設置の検討を投げかけたが、防犯や管理の関係から公園にトイレを設置しなかった経緯がある。なお、ふれあい公園は、防災環境に配慮し地震時にマンホールを外しトイレとして利用できる施設やかまどベンチを設置している。

○：維持・管理・運営は老人会等で行うと思うが、全てボランティアで行うのか。

→：紹介した地区には町会を母体とした緑道管理の活動をしている団体が既にあったが、整備した公園の管理はされなかった。上宿公園だけは公園を管理する団体が結成された。これらの活動には区からの活動助成がなされている。

○：公園が整備された直後は、老人会も公園管理に取り組むかもしれないが、永続して実施するのは大変であると思う。

→：ボランティアで公園管理を主体的に行う近隣住民がいる場合もある。

○：昼間、子供たちが公園で遊んでいるのをあまり目にすることがない。昔は公園が交流の場だったが、今はそうではないと思う。夜になると中高生の溜り場となり、夏は花火で大騒ぎ

になる。確かに防災面から考えて必要な公園もあるのかもしれないが、慎重に考えた方がよいと思う。例えば、子供たちが自由にボールを投げて遊べるような公園になるのであれば、人が集まってくるのではないか。公園の管理を行い見守る人がいて子供たちを様々な面でケアできれば、青少年育成の意味でもよいと思う。

→：電車に見える公園は、球技運動が可能な公園整備はどうかという意見があり、他地区で行っているケースを調べたところ、施設に出入りする鍵の管理を自主管理団体が行っている場所もあった。この様な公園を計画する場合は、鍵の管理等も検討要因の一つである。

○：どんな公園でも、トイレがあれば何かしら事件が起こると思う。問題は管理面である。

→：横浜市の事例では、公園内のトイレの天窗が2回破られたことがあり、管理団体の方が環境維持に努め活動したり、協議会から要請を受けた学校では校長が全校集会等で注意を呼びかけた地区もある。

○：その様なコミュニケーションが取れば良いと思うが、それが出来るかが重要である。公園の管理者は苦勞が多いのではないか。公園にトイレを設置するなら、市が毎日、掃除するようでない、町会ではそこまで管理できないと思う。町会から注意できない面もあるため、行政にも管理してもらいたい。また、掃除や草刈の頻度も課題となる。

○：何故公園で子供たちが遊ばないのかといえば、自由に使えずつまらないからである。子供たちは自由に使えれば集まってくる。ワークショップで住民の意見を取り入れるといっても、結局、行政の考える公園を作っているため、誰も利用しないことがある。子供たちとボランティアのグループ等が自由に使える公園を考えるようにすれば、様々なグループが管理するようになる。本当の意味で立場も違う考え方も違う人が集まって、意見を交換するとよい公園づくりが出来ると考える。行政が考える公園を作っても、負担になってしまうと思う。当地区の人たちがどんなまちにしようか、どういう公園にしようかと考えていかないと、まちづくりの気運も高まらない。

各々の町会で、公園になぜ子供たちが来ないのか、子供たちと一緒になぜ遊ばないのかを考え、子供たちがいる公園と当地区の公園はどこが違うのかを話し合わないと、結局は管理が重荷になる公園ができてしまうのではないかと考える。まず、どうすれば子供たちと地域の人たち、お年寄りが交流をもてるかを考えながら、その一つのアイテムに公園があり、そのために必要な公園を作るか議論を重ねたほうがよいと思う。

## 5) 分科会の勉強会について

平成 26 年度盛人大学地域デザインコース「進化するキュポランダー」の活動概要を報告。

## 6) 当地区のまちづくりにおける最近の課題について

- ：芝新町の自転車置き場を、芝5丁目広場に移転するという話があったが、一部の地権者が反対して、話が立ち消えた。再度、芝5丁目広場を自転車置き場にできないかという話が出てきた。単なる自転車置き場ではなく、公園の機能も持たせた場所として考えるとよいのではないか。芝新町に現在400台程度の自転車置き場があるが、その隣が芝コミュニティセンターで、狭い敷地で盆踊りをしている状況である。自転車置き場が芝5丁目広場に移転すれば、その跡地を公園として活用できる。
- ：蕨駅東口周辺はバス停が遠く使いづらい。東口周辺整備を考えるのは賛成である。
- ：蕨駅ホームを伸ばし、改札口として、仮称「芝口」や「芝北口」等、芝園団地の方へ改札をつくれば、駅前広場をより活用できる。駅前が改良されれば、周辺の資産価値も上がり、開発も容易にできると思う。現状では蕨東口周辺は開発に力をいれていない。蕨市の方針もあるので、川口市と蕨市が合併でもしない限りは、流れを変えるのは難しい。
- ：災害時に当地区の住民で応急仮設住宅が作れないかと設計やアイデアを考えている。木、紙、段ボールを使用し素早く作れるよう検討している。10人程度で子供たちや町会で応急仮設住宅を作り相談会を行っているが、実際に何回かお手伝いさせてもらってわかるのは、まちづくりに必要なのは、住民のマンパワーであると思う。

## 7) 今後の予定

次回の協議会は、8/28(金)(芝公民館、14:00～)とする。

## 8) 閉会